

|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 研究課題名                            | 経カテーテル的大動脈弁留置術の術前術後因子と術後経過および予後との関連に関する後方視的研究  |
| 研究の意義・目的                         | 経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）実施後の生存率や生活の状況に關与する因子を検討し、手術による効果を最大化するための手術前及び手術後におけるリハビリテーションの関わり方を検討することを目的としています。 |
| 研究を行う期間                          | 倫理委員会承認後 ～ 2030年12月30日（西曆）   |
| 研究協力をお願いしたい方（対象者）                | 2016年1月4日（西曆）～2024年12月30日（西曆）において、当院で経カテーテル的大動脈弁留置術を施行された患者様が対象となります。                                    |
| 協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目 | 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。<br>診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、各種検査データなど<br>検査結果：筋力、歩行速度、栄養評価、フレイルスコアなど     |
| 試料・情報の他機関への提供                    | この研究は大阪市立大学医学部附属病院リハビリテーション部および循環器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。   |
| この研究を行っている共同研究機関                 | この研究は大阪市立大学医学部附属病院リハビリテーション部および循環器内科のみで行います。   |
| 試料・情報を管理する責任者                    | 大阪市立大学大学院医学研究科循環器内科学 職名：准教授 研究責任者：泉家 康宏  |
| 本研究の利益相反                         | 利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。<br>本研究に關連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。                 |
| 研究に協力をしたくない場合                    | 下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に關する不利益等を受けることはありません。                                 |
| 連絡先                              | 例）大阪市立大学医学部附属病院 リハビリテーション部<br>（担当者氏名）清水 将史<br>電話番号：（06）6645-2386   |